



さとう しげいち
佐藤 滋一

職 名 教授

担当科目 経済学入門Ⅰ、Ⅱ、日本経済論Ⅰ、Ⅱ、
経済政策論Ⅰ、Ⅱ、労働経済学

- 研究テーマ
1. 日本経済の数量経済分析
 2. ドイツ経済論
 3. 経済学の教育

研究業績

論 文	1994年6月	景気動向指数と景気循環の概念について（『金沢経済大学論集』第28巻第1号）
	1994年11月	統一後のドイツ経済について（『金沢経済大学論集』第28巻第2号）
	1996年	ExcelによるCobb-Douglas生産関数の推計（『金沢経済大学論集』第30巻2号）
	1997年	外国商学書講読の授業評価について（『金沢経済大学論集』第31巻2号）
	1995年3月	統一ドイツの雇用問題（『金沢経済大学経済研究所年報』第15号）
	1995年7月	阪神大震災の経済的影響について（『金沢経済大学論集』第29巻第1号）
	1998年3月	電力業における設備投資を巡る諸問題（『金沢経済大学経済研究所年報』第18号）
	2000年3月	1990年代におけるドイツの消費動向に関する一考察（『那須大学論叢』創刊号）
	2003年3月	ドイツ語圏のオペラハウスへの公的助成に関する予備的考察（『那須大学都市経済研究年報』第3号）
	2005年10月	世界の都市から：チューリヒ（『那須大学都市経済研究年報』第5号）
	2006年4月	統計にみられるドイツの劇場（『宇都宮共和大学論叢』第7号）
	2007年10月	世界の街角から——ボン(ドイツ連邦共和国)(『宇都宮共和大学都市経済研究年報』第7号)
	2010年3月	家計調査による長期的なジニ係数の変化（『宇都宮共和大学論叢』第11号）
	2010年3月	平均成長率はなぜ異なるのか（『宇都宮共和大学論叢』第11号）
	2012年3月	ドイツの人口と労働力1（『宇都宮共和大学論叢』第13号）
	2013年11月	欧州における都市公共交通の状況について—ボンの事例—（『宇都宮共和大学都市経済研究年報』第13号）
	2015年10月	欧州における都市公共交通の状況について—チューリヒの事例—（『宇都宮共和大学都市経済研究年報』第15号）
調 査	1984年11月	マレーシア国サバ州ベンコカ地区造林、入植調査 ほか

社会的活動

1995年3月	石川県民大学校講師
2001年10月 ～2001年11月	小山市立生涯学習センター 生涯学習センター講師

略 歴

1975年3月	慶應義塾大学経済学部卒業（経済学士）
1975年4月	(株)三菱総合研究所入社、(財)三菱経済研究所を経て
1987年8月 ～1992年2月	クレディ・スイスのエコノミスト
1995年4月 ～1999年3月	金沢経済大学経済学部専任講師
1996年4月 ～2008年3月	日本大学経済学部非常勤講師
1999年4月	那須大学都市経済学部助教授
2006年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部助教授（大学名称等変更）
2016年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部教授（～現在に至る）

所属学会

日本経済学会, European Economic Association

自己アピール

私自身は日本・ドイツ経済の現状を分析することに興味を持ち、研究してきました。とりわけ経済の現状を把握するための経済指標を中心に考えています。
また、経済学・経済分析の成果をいかに学生を含め一般の方々に伝えるかということにも興味を持っています。